

ひまわりだより

～7月の子どもの様子～ 令和2年8月 春日こども園



<花火教室>

西消防署へ行って花火の正しい扱い方を紙芝居で見たり、消防車と救急車を見学したりしました。消防車の周りには救助するための道具がたくさん付いていたり、救急車の中には応急処置そのための道具が色々ありました。初めて目にすることばかりで、興味津々でした。普段ではできないような貴重な体験ができた子どもたちにとっても嬉しそうでした。

<七夕製作>

ちょうちんと輪かざりを作りました。折り紙に切り込みを入れたり、細長い折り紙を輪っかにしてつなげたりしました。切り込みが短すぎてしまったり、上手く輪っかにできなかつたりと苦戦している子もいましたが、保育者や友達に助けてもらいながら最後まで諦めずに作る姿が見られました。自分の好きな色で線を書き、個性あるちょうちんが完成しました。完成したちょうちんと輪かざりは、御家庭で記入していただいた短冊と一緒に飾り、出来上がった笹を眺め季節の行事を楽しんでいました。

<七夕まつり>

パネルシアターで七夕の話を聞いたり、七夕に関する〇×クイズを行ったりしました。〇×クイズでは、正解すると子どもたちは大喜びして、盛り上がりっていました。七夕の給食では、星の形がいくつあるか友達と探して、美味しいように食べる姿が見られました。



<カメ～作ったもので遊ぼう～>

身近な素材を使ってカメを作り、そのカメを積み上げて遊びました。牛乳パックを丸く切り、甲羅に見立てて好きな模様を描いた後、カメのお腹にペットボトルのキャップをつけて色とりどりのカメが完成しました。グループの友達と協力しながら、自分たちで作ったカメを積んでいきました。すぐに崩れてしまうことが多かったのですが、繰り返し経験するうちに「そっとのせたら倒れないよ」とコツをつかんでいました。友達と約束を共有することで積み上げる数も徐々に増え、充実感を感じながら楽しんでいるようでした。

<納涼祭>

練習の時から盆踊りの曲が流れる元気いっぱいに踊る子どもたちが多く、納涼祭が待ち遠しい気持ちで溢れていました。納涼祭の飾りの「チョコバナナ」は、一人一人がイメージを形にしようと工夫しながら作っていました。いろいろな形をした美味しいチョコバナナが完成しました。例年とは異なり、今年度は縮小しての納涼祭でしたが、天気に恵まれ、甚平や浴衣を着た晴れ姿を見る事ができました。参観会の時のような緊張感ではなく、練習の時と同じように伸び伸びと踊り、楽しそうな表情をたくさん見ることができ嬉しかったです。



<線遊び>

点線をなぞる線遊びをしました。初めは線が曲がったり途切れたりしましたが、繰り返し行うことで少しずつ真っ直ぐに引けるようになってきました。線遊びは、文字を書くことにつながる遊びです。ペンの持ち方や書く時の姿勢を子どもたちと確認しながら、正しい持ち方・姿勢が身につくよう指導していきたいと思います。

<誕生会>

7月の誕生会では、「こんなことできるかな」を行いました。誕生児の子が「こんなこと・こんなことできるかな」と歌いながら、自分で考えた簡単な動作をみんなが真似するゲームです。初めは恥ずかしさからなかなか動き出しができませんでした。しかし、保育者の手本を見たり、みんなが楽しむ様子を見たりするうちに緊張はほぐれ、とても盛り上りました。誕生児の子がそれぞれ考えた動きは少しずつ変化があり、みんなは惑わされないように誕生児の動きを一生懸命見ていました。面白い動きが多く、子どもたちも私たちも自然と笑顔があふれる誕生会になりました。